

あかり

A K A R I

「シズてん」がやってきました。 ー幸せを運ぶ、小さな天使ー	1
院内QC活動について	3
てんかんセンター協議会JEPICAで ベストポスター賞を受賞	3
新しい仲間とともに、より良い医療へ	4
重症心身障害児者病棟全体行事「心のコンサート」	6
永年勤続職員を表彰しました	6
外来再診の診療体制医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本	8

「シズてん」がやってきました。 ー幸せを運ぶ、小さな天使ー

副広報室長
高橋 輝



このたび、静岡てんかん・神経医療センターに、新しい仲間が誕生しました。

その名は「シズてん」。

これから院内や広報誌、ホームページ、イベントなど、さまざまな場所で皆さまにお会いする機会が増えていきます。まずは、この小さな仲間をご紹介します。

「シズてん」という名前は、とてもシンプルです。当センターの「静」と「てん」から名付けました。しかし、この「てん」には実は二つの意味が込められています。

一つはもちろん、「てんかん」の「てん」。

そしてもう一つは、「天使」の「てん」です。

「シズてん」は、病院を訪れるすべての方々に幸

が訪れることを願って生まれた、小さな天使なのです。

その誕生のきっかけとなったのは、当センターのある漆山の自然でした。漆山周辺では、ある季節になると、タンポポの綿毛やウサギのしっぽのような白くふわふわした毛玉が、風に乗って空から舞い降りることがあります。その幻想的な光景は、まるで雪が降っているかのようです。この不思議な白い毛玉は、古くから「ケサランパサラン」と呼ばれています。江戸時代以降、「天から降ってきて、その土地に宿り、人々に幸福をもたらす」と伝えられてきた、正体不明の神秘的な存在です。もちろん、その正体

にはさまざまな説があります。しかし、昔の人々は、その姿に幸せや希望を重ねてきました。私たちも、この地域に受け継がれてきた温かな言い伝えに魅力を感じ、「ケサランパサランが天使になって病院へ舞い降りたら、きっとこんな姿になるのではないだろうか。」そんな想像から、「シズてん」が誕生しました。

実は、「シズてん」の体には、病院や地域への想いがたくさん隠されています。

まず、口と鼻をご覧ください。これは、当センターのシンボルマークでもある「ろうそく」をモチーフにしています。ろうそくの灯は、小さくても暗闇を照らします。当センターもまた、てんかんや神経難病、重症心身障害とともに歩む患者さんやご家族に寄り添い、一人ひとりの未来を照らす存在でありたい。そのような願いを、この小さな灯に込めました。

ほっぺたには、少し変わった模様があります。これは、てんかん診療に欠かすことのできない「脳波」をデザインしたものです。脳波検査は、患者さんの状態を知るための大切な手がかりであり、当センターの専門性を象徴するデザインでもあります。

さらに、シズてんが着ているワンピースには、静岡県の特徴である雄大な富士山が描かれています。全国各地から患者さんが訪れる当センターですが、「静岡らしさ」を感じていただきたいという思いから、このデザインを取り入れました。

そして、意外に思われるかもしれませんが、足はレンコンになっています。これは、病院のある麻機地区の名産品であるあさはた蓮根をモチーフにしたものです。レンコンは「先が見通せる」縁起の良い食べ物としても親しまれています。患者さんやご家族が未来への希望を持ち、安心して歩んでいけるようにという願いも込められています。

このように、「シズてん」は、病院、地域、そして患者さんへの想いを一つひとつ形にして生まれたキャラクターです。

私たちは、専門病院だからこそ、高度な医療を提供するだけでなく、「安心できる病院」「親しみやすい



病院」でありたいと考えています。病院は、決して楽しい場所ではないかもしれませんが。不安や緊張を抱えながら来院される患者さん、ご家族も多くいらっしゃいます。そんなとき、院内のどこかで「シズてん」を見つけ、「なんだかかわいいね」と少し笑顔になっていただけたら、それだけでも私たちはうれしく思います。

また、「シズてん」は患者さんだけでなく、地域の皆さまと当センターをつなぐ架け橋にもなってほしいと願っています。病院をもっと身近に感じていただき、てんかんや神経難病、重症心身障害への理解が少しずつ広がるきっかけになれば幸いです。

さらに、「シズてん」は職員にとっても大切な仲間です。患者さんを笑顔にするだけでなく、働く私たち自身も元気になり、毎日を前向きに、楽しく働ける職場でありたい。そのような思いも、このキャラクターには込められています。

これから「シズてん」は、院内掲示や広報誌、ホームページ、地域イベント、さまざまな広報活動を通して皆さまの前に登場します。季節ごとの装いをしたり、いろいろな表情を見せたりしながら、少しずつ皆さまに親しまれる存在へと成長していきます。

病院に幸せを運び、地域とのつながりを育み、患者さんやご家族にそっと寄り添う小さな天使、「シズてん」。

どうぞ末永く、よろしくお願いいたします。



院内QC活動について

経営企画室長 寺田 英生



掲載の写真は、令和7年度QC活動において優秀であった3チームの代表者と今井前院長との表彰後に撮影された記念写真となります。令和7年度は各部門から16チームの応募があり、どれもさまざまな視点からQC活動報告を行っていただきました。①医療サービス、②経営改善、③医療安全、④働き方改革、⑤その他と各グループが選択したテーマに沿って魅力ある発表を行っていただきました。どのグループも甲乙つけがたく、評価も非常に拮抗しておりました。

ちなみに最優秀賞はチーム『アラーム減らし隊』で unnecessary アラームを減らし、真に必要なアラームに対して迅速に対応ための工夫が評価されたと思います。優秀賞は同点で2チーム『SAKAMOTO DAYS』と『災害に備え隊』でした。

令和8年度のQC活動の募集も既に始まっております。今年度はどんな活動報告が飛び出すのか。ワクワクが止まりません。皆様、振るってご参加ください。令和8年度QC活動の主役はあなたです！

てんかんセンター協議会JEPICAで ベストポスター賞を受賞

療育指導室
相川 萌子

このたび、全国てんかんセンター協議会総会札幌大会において「ACTH療法中不機嫌さがみられた児への関わり」をテーマにポスター発表を行い、ポスター賞を受賞しました。

ACTH療法はIESSの子どもに対して行われる治療の一つで、副作用として不機嫌さや易感染性などがみられることがあります。小児てんかん病棟の保育士として、そのような治療を頑張る子どもたちに対し、副作用の軽減を目的に感覚刺激を取り入れた療育を実践し、その取り組みについて報告しました。

今回の発表を通して、小児てんかん病棟の保育士の役割や専門性を知っていただき、同じ治療を頑張る子どもたちへの支援が広がることで、治療中の子どもやご家族が少しでも安心して治療の臨めることにつながればと願っています。

今回の受賞を励みに、今後も治療を頑張る子どもやご家族に寄り添った支援を積み重ねるとともに、小児てんかん病棟における保育士として専門性を高め、その実践を発信することで、より多くの子どもたちへの支援に繋げていきたいと考えています。この受賞は、私ひとりではなく、日頃からご指導くださる上司を始め、多くの皆様の支えがあってこそのものであります。心より感謝申し上げます。



新しい仲間とともに、より良い医療へ

今年度、当院に新たな職員が加わりました。新採用者オリエンテーションでは、てんかん発作時の対応やMRIの磁場体験など、医療安全や業務に関わるさまざまな内容を学び、病院職員としての第一歩を踏み出しました。今後の活躍を温かく見守っていただければ幸いです。

管理課長

伊藤 静孝

今回が初めての静岡に赴任です。静岡県には掛川花鳥園の『ハイロエボシドリ』に会いに年に数回来ていました。今回の赴任をきっかけに掛川花鳥園の年間パスポートを買おうかどうか迷っています。

専門職

地原 佳孝

天竜病院から赴任してきました。
まだ不慣れな点も多く、ご迷惑をお掛けすることがあるかもしれませんが、当センターがより良い病院となるようがんばっていききたいと思います。
よろしくお願いします。

臨床検査技師長

松井 一樹

東尾張病院より赴任しました。静岡県2回目となります。自己の研鑽を怠らず、患者およびご家族へ還元できるよう切磋琢磨して参ります。
どうぞよろしくお願い致します。

副診療放射線技師長

岸田 衣里

静岡医療センターより赴任してきました。3年ぶりの漆山のあたたかい空気に迎えられホッとしています。安心して画像検査を受けていただき、診断治療に繋がる画像を提供できるよう努めてまいります。よろしくお願いします。

調剤主任

戸上 博昭

国立長寿医療センターより赴任しました。これまで、名古屋医療センター、国立長寿医療センターと勤務し、初めての静岡県となります。当院、専門性の高い施設となるため、早く病院に貢献できるよう自己研鑽に励みたいと思います。

理学療法士

保田 智也

石川病院から転入した、理学療法士の保田(ホタ)と申します。石川病院より患者数もスタッフも多く、対象とする疾患も幅広く、面食らっていますが、できるだけ早く慣れるように頑張ります。趣味は旅行や登山、お酒も好きです。よろしくお願いします。



新採用者オリエンテーションを終え、
病院職員として新たな一歩を踏み出しました。

看護師長

黒土 ゆり

患者さんのQOL向上やスタッフへの公平なワークライフバランス維持を目指します。これからよろしくお願いします。

看護師長

4月より外来に配属になりました。よろしくお願いします。
「なんでも挑戦」を心がけ、仕事に勉強に趣味に励んでいます。外来でお困りごとやご相談がありましたら、お気軽に声をかけてください。

看護師長

4月からB2病棟に配属されました。患者様が安心して療養生活が送れるように、また、安全な看護が提供できるように、スタッフと一緒に協力していきたいと思っています。
よろしくお願いします。

看護師

古川 友葵

4月からA4病棟に配属になりました。
静岡での生活に慣れて、てんかん看護について学んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

看護師

宮城島 桃夏

今年度より重症病棟で働くことになりました。不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけするかもしれませんがよろしくお願いします。日々コツコツ頑張ります。

看護師

小野 智晴

三重県の鈴鹿病院から異動してきました。重心の病棟は初めてです。患者様と病棟スタッフの皆様のお役に立てるよう粉骨砕身で取り組んでまいります。休みの日は丸1日ゲームをしています!好きな動物はイルカです!よろしくお願い致します。

脳神経外科医師

美山 真崇

兵庫県から参りました、脳神経外科の美山と申します。神戸市出身で、防衛医科大学校を2012年に卒業しました。これまでは主に脳卒中診療に携わってきましたが、てんかんの基礎脳波判読、外科手術について学びたく、本年より勤務させていただいています。宜しくお願いいたします。

小児科レジデント

日本最大の包括的てんかんセンターで、多職種連携しながら勤務させていただくことに誇りをもって、日々の診療に努めていきたいと思ひます。新たな職場にも早く慣れたいと思ひます。よろしくお願いします。

精神科レジデント

吉岡 大祐

鳥取県から来ました。太平洋の温暖な気候の元、静岡での生活を満喫しながらも、一所懸命にてんかんを学びたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

看護師

長谷川 俊太郎

この度B1病棟に配属になりました。看護師の長谷川俊太郎です。以前は回復期の病棟で勤めていました。趣味はお笑いやスポーツを見ることです。患者さんに個別性のある看護を提供できるよう尽力し、チームの一員として成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

看護師

初めてのことが沢山あり緊張しますが、安全に患者さんやご家族に寄り添った看護を実践できるように頑張ります。また、日々の学びや教を大切に、看護師としても成長していきたいと思ひます。

看護助手

増田 壮一郎

4月から、看護助手として働かせていただくことになりました。早くみなさんのお役に立てるよう、自分の役割を正確に覚え、看護助手として頑張っていきたいと思ひますのでどうぞよろしくお願い致します。趣味は車が好きで、ゲームをしたり漫画を読むことも好きです。



てんかん発作時の対応について、実践を交えながら理解を深めました。

療養介助員

上野 萌子

4月から非常勤療養介助員として入職しました。新しい環境で緊張と不安でいっぱいですが、患者さんのそれぞれの個性を大切に思いやりを持って毎日接していきたいという思いがあります。頑張りたいです。

理学療法士

鬼頭 春菜

今年度より理学療法士として入職いたしました鬼頭春菜です。てんかんや神経難病への理解を深め、より良いリハビリテーションを提供できるよう日々努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

薬剤師

岸 真奈香

4月から薬剤師として入職しました。患者様やご家族に寄り添える薬剤師になれるよう精一杯頑張ります。至らない点も多くあるかと思いますが、ひとつひとつ学びながら成長して参ります。よろしくお願い申し上げます。

保育士

安藝 万葉

療育指導室に4月から入りました。安藝 万葉です。博物館や水族館、動物園が好きです。特に恐竜グッズを集めています。発達のことや日常のことなど、なんでも話せる保育士になれるよう頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

診療情報管理士

荒木 梨恵

4月より診療情報管理士として入職いたしました荒木梨恵と申します。趣味はランニングで大会にもよく参加しています。走るのが好きな方もそうでない方も気軽にお声をかけていただけると嬉しいです。よろしくお願い申し上げます。

財務管理係

山口 禾恩

企画課財務管理係に配属になった山口禾恩です。趣味は音楽を聴くことです。特にK-POPが好きでライブとかにも行っています。まだ分からないことばかりなので、はやく仕事に慣れるようにがんばります。よろしくお願い申し上げます。



MRIの磁場体験を通じて、検査時の安全管理の重要性を学びました。

重症心身障害児者病棟
全体行事

「心のコンサート」

療育指導室 望月 恵

5月20日の午後、艶やかで重厚な弦楽器の音、伸びやかなメロディーが響き渡り、体育館がいつもと違う空気に包まれました。

今年度の全体行事は、富士山静岡交響楽団による「心のコンサート」が開催されました。ヴァイオリン、チェロ、ヴィオラの弦楽四重奏。想像以上の音量で、音が振動となって身体に伝わる感覚がありました。曲目はクラシックに加え、こちらの希望を取り入れて歌謡曲やアニメソング等のなじみのある曲も演奏していただきました。患者さんには、普段と違う音楽や雰囲気に笑顔やキョロキョロする姿、知っている曲を口ずさむ姿がみられました。

優しい音に穏やかな様子やうとうとする方もおり、「気持ちいいですね」等の声かけも聞かれていました。それぞれの感じ方で楽しんでいたと思います。

生の演奏に触れることやゲストとの出会い、病棟を離れて大



勢で集まることは患者さんにとって特別な体験だと思います。今後も行事や活動を通して患者さんが楽しみを持ち、彩りある生活ができるよう支援していきたいと思います。

慰問演奏をしてくださった富士山静岡交響楽団の皆様、心より御礼申し上げます。



永年勤続職員を表彰しました



5月1日、永年勤続表彰式を行い、勤続20年を迎えた職員4名に賞状と記念品を授与しま

した。長年にわたり当院の発展と医療サービスの向上に尽力された皆さんに、心より敬意と感謝を表します。



診 療 体 制

てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

曜日	初 診					再 診				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
第1診察室								川 口		白 井
第2診察室						徳 本	水 谷			
第3診察室	大谷 英之			白井 直敬			西 田			西 田 (AM)
第4診察室								日 吉	宮 下	川 口 (AM)
第5診察室							山 崎	平 松	山 崎	小 川
第6診察室					松平 敬史	芳 村		松 平	芳 村	
第7診察室			山口 解冬			美 根	美 根		美 根	
第8診察室				山口 解冬		露 崎		高 橋		山 口
第9診察室		大谷 英之	山崎 悦子			重 松			大 谷	大 谷
第12診察室	西田 拓司	川口 典彦	西田 拓司							

脳神経内科

■ 初診

曜日	月	火	水	木	金
第10診察室	午前 中川	小尾	小尾		小尾
	午後 小尾 智一	小尾 智一	小尾 智一		小尾 智一
第11診察室	午前 杉浦	杉浦	高嶋		寺田
	午後 杉浦 明 初診+再診	中川 裕亮	高嶋 浩嗣 初診+再診		尾内 第4週
第5診察室	午前 寺田 達弘 初診+再診				

特殊外来

認知症疾患医療センター	月・水	小尾 智一
睡眠覚醒外来	第3 または 第4金	小栗 卓也
頭痛外来	火(PM)	中川 裕亮
	木(PM)	三田 晃裕

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

地域医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、地域医療連携室を設置しています。ご利用ください。(平日)

TEL ■ 054-246-4580

FAX ■ 054-246-4607

E-mail ■ 307-renkei@mail.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。
上記、地域医療連携室にお問い合わせください。

広報誌編集委員会

編集人 ■

西田 拓司	藤田 陽子	石橋 綾子
内野 達宏	佐倉 裕二	柴山 明範
田中佐代子	高橋 輝	鈴木 一彦
宮本 将志		

発行 ■ 令和8年7月30日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山886

TEL ■ 054-245-5446

FAX ■ 054-247-9781

URL ■ <https://shizuokamind.hosp.go.jp>

E-mail ■ 307-shizuokamind@mail.hosp.go.jp

はじめに当院を受診される方へ

◆ 診察は予約制になっています ◆

1 受診のための手続きは…

予約は、本人・家族は予約センター(054-246-1065)、病院からは地域医療連携室(054-246-4580)。
その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

2 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

3 紹介状について

原則、紹介状は必要です。紹介状がない場合については、7,700円の別途費用がかかりますのでご了解ください。

4 セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

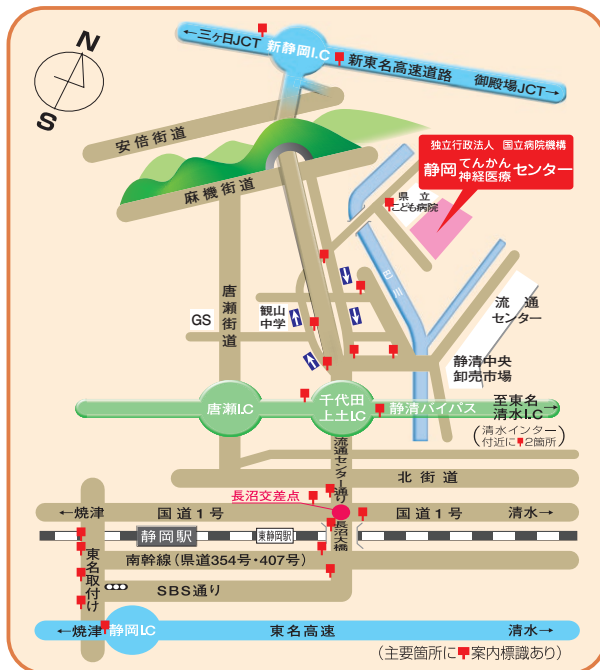
5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談
☎054-246-4608

当院へのアクセス

access

バスをご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人450円、小児230円。
タクシーをご利用の場合	● JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,800円程度。
お車の場合	● 東京方面から ● 東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ約3分。所要約20分。 ● 御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
	● 名古屋方面から ● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ約10分。所要約30分。 ● 新東名高速道路・新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



本

● 抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q & A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

● エキスパートが語る

てんかん診療実践ガイド

【日本医事新報社、2022年7月】

静岡てんかん・神経医療センターの専門医が中心となり、てんかんの診断・分類から薬物治療、社会生活のアドバイスまでを体系的に解説。

- ・ てんかん発作と間違いやすい症状・疾患との鑑別を丁寧に取り上げ、誤診を防ぐための知識をふんだんに紹介。
- ・ 薬物治療についても、併存症や副作用、減薬など、判断に迷うことの多い疑問にやさしく回答しました。

● 新 小児てんかん診療マニュアル

【診断と治療社、2019年】

多くの読者に支えられ改訂を重ねてきた本書。今回、2017年の新しいILAE てんかん発作分類提案に基づいた小児てんかん診療を可能とするために、ここに「新版」として生まれ変わりました。新規抗てんかん薬だけでなく、新分類で重視される病因別の特徴や心因性非てんかん発作、遺伝子検査、MRSといった新しい画像検査など、てんかん学の進歩をたくさん詰め込みました。

● プライマリ・ケアのための

新規抗てんかん薬マスターブック(改訂第2版)

【診断と治療社、2017年】

「副作用のない治療によるてんかん発作の完全抑制」は、治療を担当する医師および患者さんとそのご家族にとって、切実な願いです。

2006年以降、「新規抗てんかん薬」とよばれる新しい抗てんかん薬が順次発売され、今後しばらく、新規抗てんかん薬の発売が続くと予想されています。本書は、これらの新規抗てんかん薬の使い方をわかりやすく解説したものです。小児と成人に分けて、エビデンスやガイドラインに基づいて、当院のスタッフがわかりやすく執筆しています。当院高橋幸利先生の編集です。

てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- ① てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- ② ホームページによる情報提供 <https://shizuokamind.hosp.go.jp/epilepsy-info/>
- ③ てんかん協会との連携
- ④ 医療などの相談(予定)